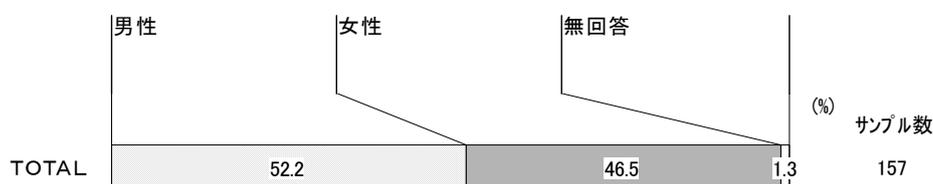


1 基本的な属性

(1) 性別

問1 性別をお答えください。(○は1つ)

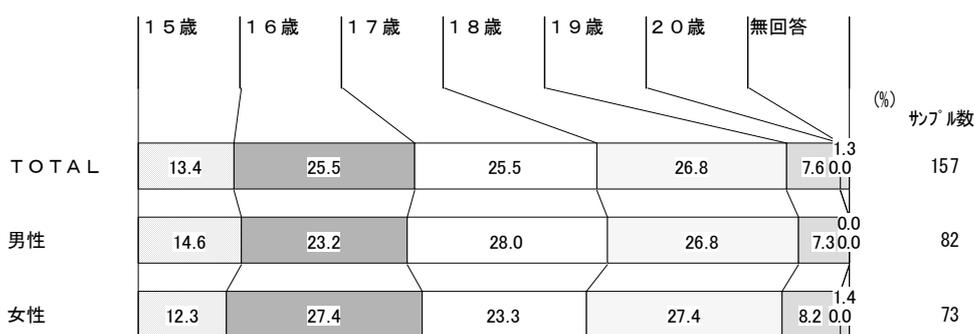
性別の構成は、男性 52.2%、女性 46.5%である。



(2) 年齢

問2 年齢(平成24年9月1日現在)をお答えください。(○は1つ)

年齢の構成は、15歳 13.4%、16歳 25.5%、17歳 25.5%、18歳 26.8%、19歳 7.6%である。



(3) 居住地区

問3 お住まいの町はどちらですか。(○は1つ)

居住地区の構成は、以下のとおりである。

	田無町	南町	西原町	緑町	谷戸町	北原町	向台町	芝久保町	新町
人数	8	6	7	3	14	1	15	16	8
構成比	5.1%	3.8%	4.5%	1.9%	8.9%	0.6%	9.6%	10.2%	5.1%

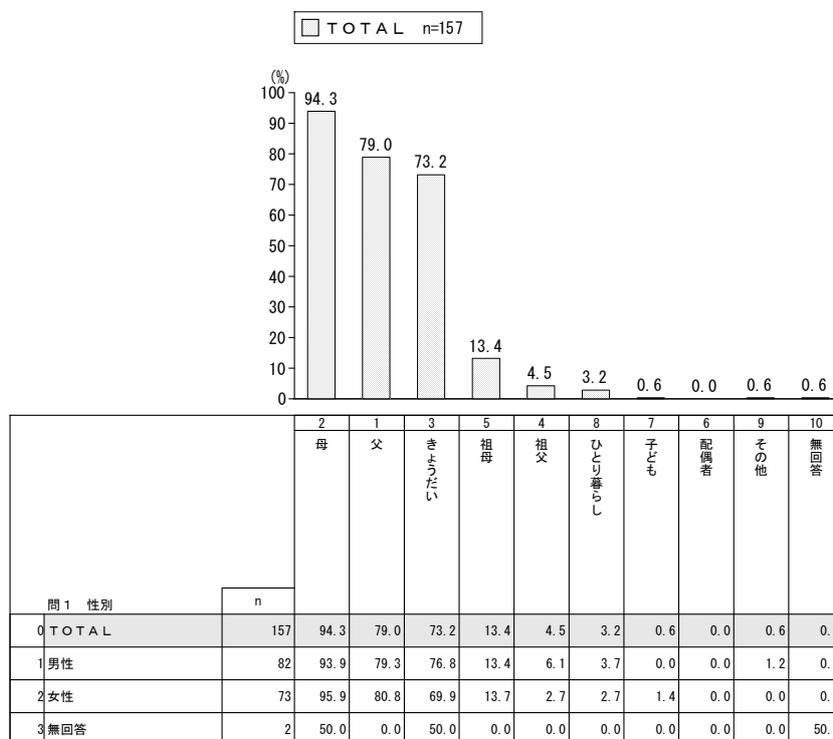
	柳沢	東伏見	保谷町	富士町	中町	東町	泉町	住吉町	ひばりが丘
人数	15	4	8	9	2	8	6	6	8
構成比	9.6%	2.5%	5.1%	5.7%	1.3%	5.1%	3.8%	3.8%	5.1%

	ひばりが丘北	栄町	北町	下保谷	無回答
人数	2	3	2	3	3
構成比	1.3%	1.9%	1.3%	1.9%	1.9%

(4) 同居家族

問4 現在、あなたと同居されているご家族はどなたですか。(○はいくつでも)

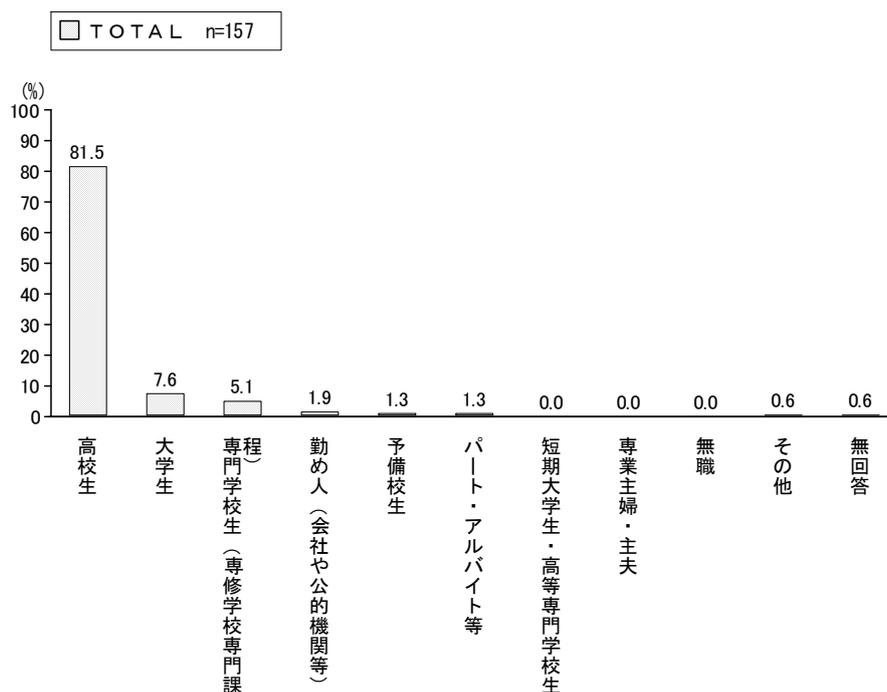
同居家族は、「母」が94.3%と最も多く、次いで「父」(79.0%)、「きょうだい」(73.2%)と続いている。



(5) 職業

問5 あなたの現在の職業をお答えください。(○は1つ)

「高校生」が81.5%を占めており、「大学生」が7.6%いる。



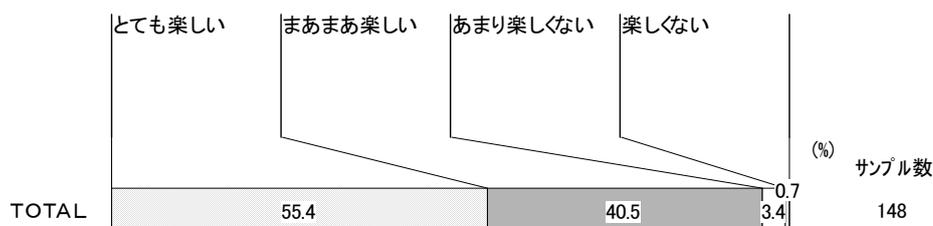
2 学校での生活の状況

(1) 学校の楽しさ

問6 学校は楽しいですか。(○は1つ)

※「高校生、短期大学生・高等専門学校生、専門学校生、大学生」と回答した者

学校に通っている人に対して、学校は楽しいかどうか尋ねたところ、「とても楽しい」と回答した人が55.4%、「まあまあ楽しい」が40.5%となっており、楽しくないとする回答は数%にとどまっている。



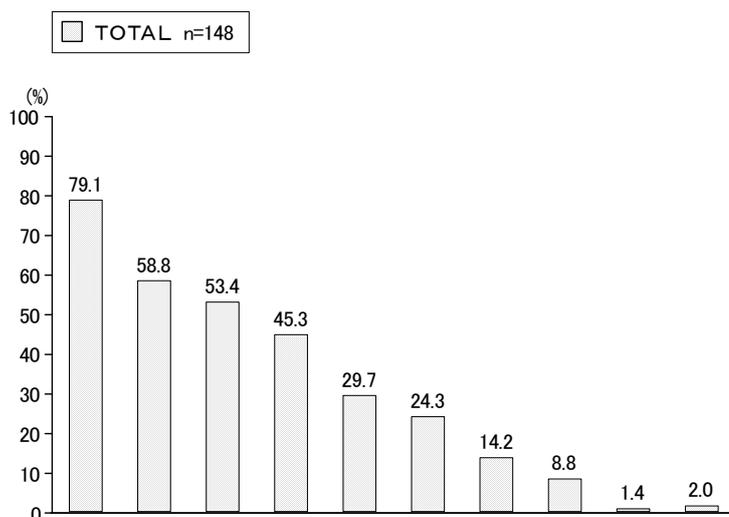
(2) 学校で楽しいところ

問7 学校のどんなところが楽しいですか。(○はいくつでも)

※「高校生、短期大学生・高等専門学校生、専門学校生、大学生」と回答した者

学校の楽しいところとしては、「友だちがいること」をあげる人が79.1%と最も多く、次いで「休み時間」(58.8%)、「部活動、サークル活動等」(53.4%)と続いている。

性別に見ると、「友だちがいること」や「修学旅行、体育祭、文化祭などの行事」をあげる人の割合は、男性に比べて女性のほうが10ポイント高く、反対に「授業」は男性のほうが10ポイント以上高くなっている。



問1 性別	n	4	2	8	6	1	3	5	7	9	10
		友だちがいること	休み時間	部活動、サークル活動等	修学旅行、体育祭、文化祭などの行事	授業	授業以外のクラス活動	先生がいること	図書室	その他	特にない
0 TOTAL	148	79.1	58.8	53.4	45.3	29.7	24.3	14.2	8.8	1.4	2.0
1 男性	79	73.4	58.2	54.4	36.7	35.4	26.6	13.9	8.9	2.5	1.3
2 女性	68	86.8	58.8	52.9	55.9	23.5	22.1	14.7	8.8	0.0	2.9
3 無回答	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※ 男性・女性で10ポイント以上差がある項目に△▽を付けています。

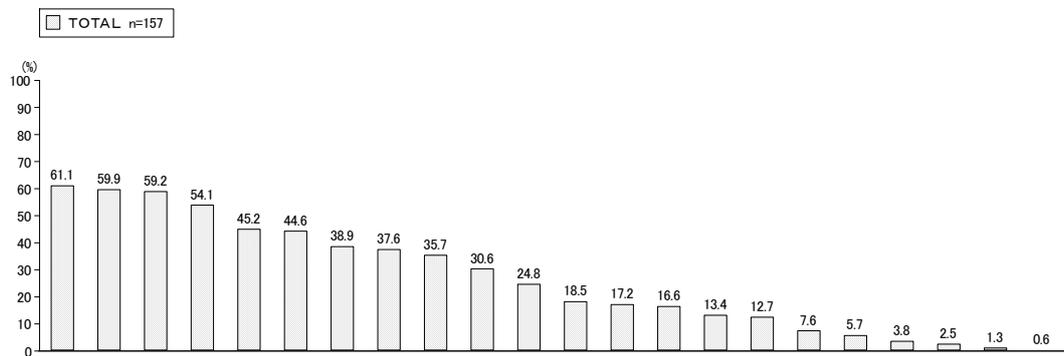
3 ふだんの生活の状況

(1) 自由な時間の過ごし方

問8 あなたは、自由な時間をどのように過ごすことが多いですか。(〇はいくつでも)

自由な時間の過ごし方としては、「テレビを見たり、ビデオ・DVDを見たりする」が61.1%と最も多く、次いで「友だちと共に過ごす」(59.9%)、「音楽を聴く」(59.2%)と続いている。

性別に見ると、男性に比べて女性のほうが10ポイント以上高い項目は、「パソコンやインターネットを利用する」(男性48.8%、女性60.3%)、「特に何もせず、ひとりでぶらぶらしたり寝転がっている」(男性39.0%、女性52.1%)、「家族と共に過ごす」(男性29.3%、女性46.6%)、「ショッピングに行く」(男性17.1%、女性56.2%)である。反対に、男性のほうが10ポイント以上高い項目は、「テレビゲームをする」(男性31.7%、女性15.1%)、「スポーツ、ダンスなどをする」(男性24.4%、女性11.0%)、「スポーツ、映画、演劇などを見に行く」(男性23.2%、女性8.2%)である。



問1 性別	n	項目																					
		5	2	11	6	1	9	10	4	14	8	7	16	18	15	12	20	3	13	17	19	21	22
0 TOTAL	157	61.1	59.9	59.2	54.1	45.2	44.6	38.9	37.6	35.7	30.6	24.8	18.5	17.2	16.6	13.4	12.7	7.6	5.7	3.8	2.5	1.3	0.6
1 男性	82	59.8	62.2	56.1	48.8	39.0	42.7	41.5	29.3	17.1	32.9	31.7	24.4	13.4	23.2	14.6	9.8	9.8	3.7	4.9	2.4	2.4	1.2
2 女性	73	63.0	57.5	64.4	60.3	52.1	45.2	35.6	46.6	56.2	27.4	15.1	11.0	20.5	8.2	12.3	15.1	4.1	8.2	1.4	2.7	0.0	0.0
3 無回答	2	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	100.0	50.0	50.0	50.0	50.0	100.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0

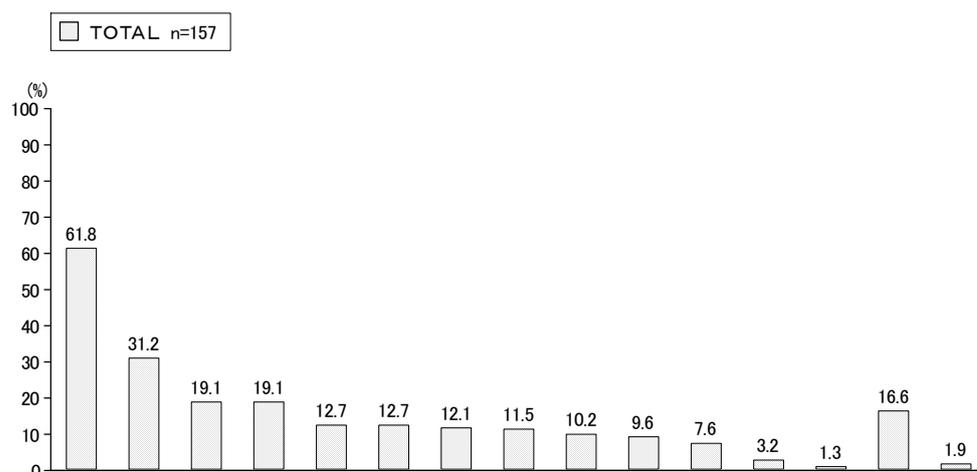
※ 男性・女性で10ポイント以上差がある項目に△▽を付けています。

(2) 悩みや心配事

問9 あなたは、どんな悩みや心配事がありますか。(○はいくつでも)

「悩みや心配事はない」と回答した人は16.6%で、8割以上の人は何らかの悩み・心配事を抱えていることがわかる。内容としては、約6割の人が「勉強や進学のこと」(61.8%)をあげ、最も多くなっている。

性別に見ると、男性に比べて女性のほうが10ポイント以上高い項目は、「容姿のこと」(男性11.0%、女性27.4%)、「性格のこと」(男性4.9%、女性20.5%)である。反対に、男性のほうが10ポイント以上高い項目は、「お金のこと」(男性24.4%、女性12.3%)である。なお、「悩みや心配事はない」と回答した人の割合は、男性では22.0%だが、女性では9.6%と低くなっており、約9割の女性は何らかの悩みや心配事を抱えていることがわかる。



問1 性別	n	1	2	8	12	5	10	3	4	6	11	9	7	13	14	15
		勉強や進学のこと	就職のこと	お金のこと	容姿のこと	友だちや仲間のこと	性格のこと	仕事のこと	家族のこと	異性のこと	健康のこと	政治や社会のこと	結婚のこと	その他	悩みや心配事はない	無回答
0 TOTAL	157	61.8	31.2	19.1	19.1	12.7	12.7	12.1	11.5	10.2	9.6	7.6	3.2	1.3	16.6	1.9
1 男性	82	58.5	34.1	24.4	11.0	8.5	4.9	11.0	7.3	11.0	9.8	8.5	3.7	1.2	22.0	1.2
2 女性	73	65.8	27.4	12.3	27.4	16.4	20.5	12.3	15.1	8.2	8.2	6.8	1.4	1.4	9.6	2.7
3 無回答	2	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0

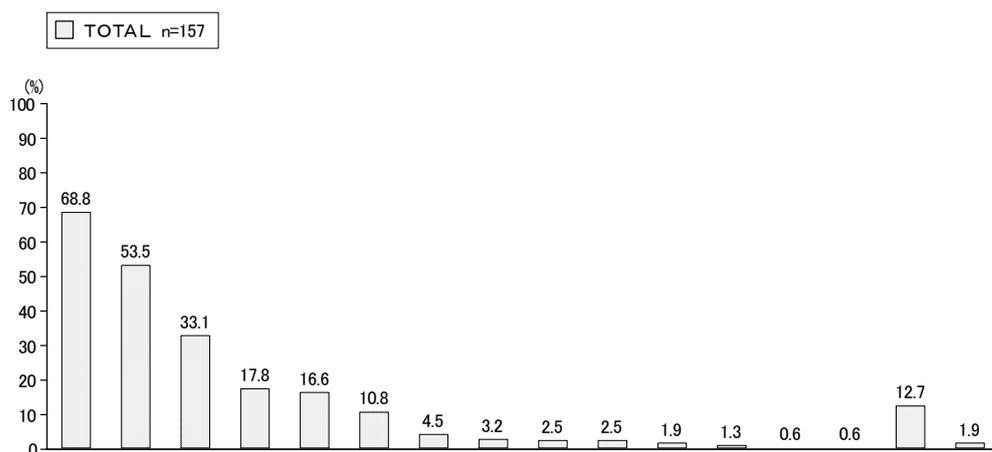
※ 男性・女性で10ポイント以上差がある項目に△/▽を付けています。

(3) 悩みや心配事の相談相手

問10 あなたが悩みや心配事があった場合の相談相手として、あてはまるものを選んでください。(〇はいくつでも)

悩みや心配事の相談相手としては、「学校（学校時代）の友だち」をあげる人は68.8%と最も多く、次いで「母」(53.5%)、「父」(33.1%)と続いている。なお、「誰にも相談しない」と回答した人が12.7%見られる。

性別に見ると、男性に比べて女性のほうが10ポイント以上高い項目は、「学校（学校時代）の友だち」(男性57.3%、女性80.8%)、「母」(男性43.9%、女性64.4%)、「きょうだい」(男性8.5%、女性24.7%)である。反対に、男性のほうが10ポイント以上高い項目は、「父」(男性39.0%、女性26.0%)である。なお、「誰にも相談しない」と回答した人の割合は、女性では6.8%だが、男性では18.3%と高くなっており、男性は女性に比べて、周囲に悩みや心配事をあまり相談しない状況がうかがえる。



問1 性別	n	相談相手																	
		6	2	1	7	3	8	14	11	4	13	12	15	9	16	17	18		
		学校（学校時代）の友だち	母	父	学校（学校時代）の先生	きょうだい	学校（学校時代）の先輩	恋人	団体・グループなどの仲間	祖父母・親類	インターネットのサイト	インターネット上の友だち	カウンセラー、相談員	職場の同僚、上役や先輩	その他	誰にも相談しない	無回答		
0 TOTAL	157	68.8	53.5	33.1	17.8	16.6	10.8	4.5	3.2	2.5	2.5	1.9	1.3	0.6	0.6	12.7	1.9		
1 男性	82	57.3	43.9	39.0	15.9	8.5	6.1	4.9	2.4	2.4	2.4	2.4	1.2	1.2	0.0	18.3	3.7		
2 女性	73	80.8	64.4	26.0	19.2	24.7	15.1	4.1	4.1	2.7	2.7	1.4	1.4	0.0	1.4	6.8	0.0		
3 無回答	2	100.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

※ 男性・女性で10ポイント以上差がある項目に△▽を付けています。

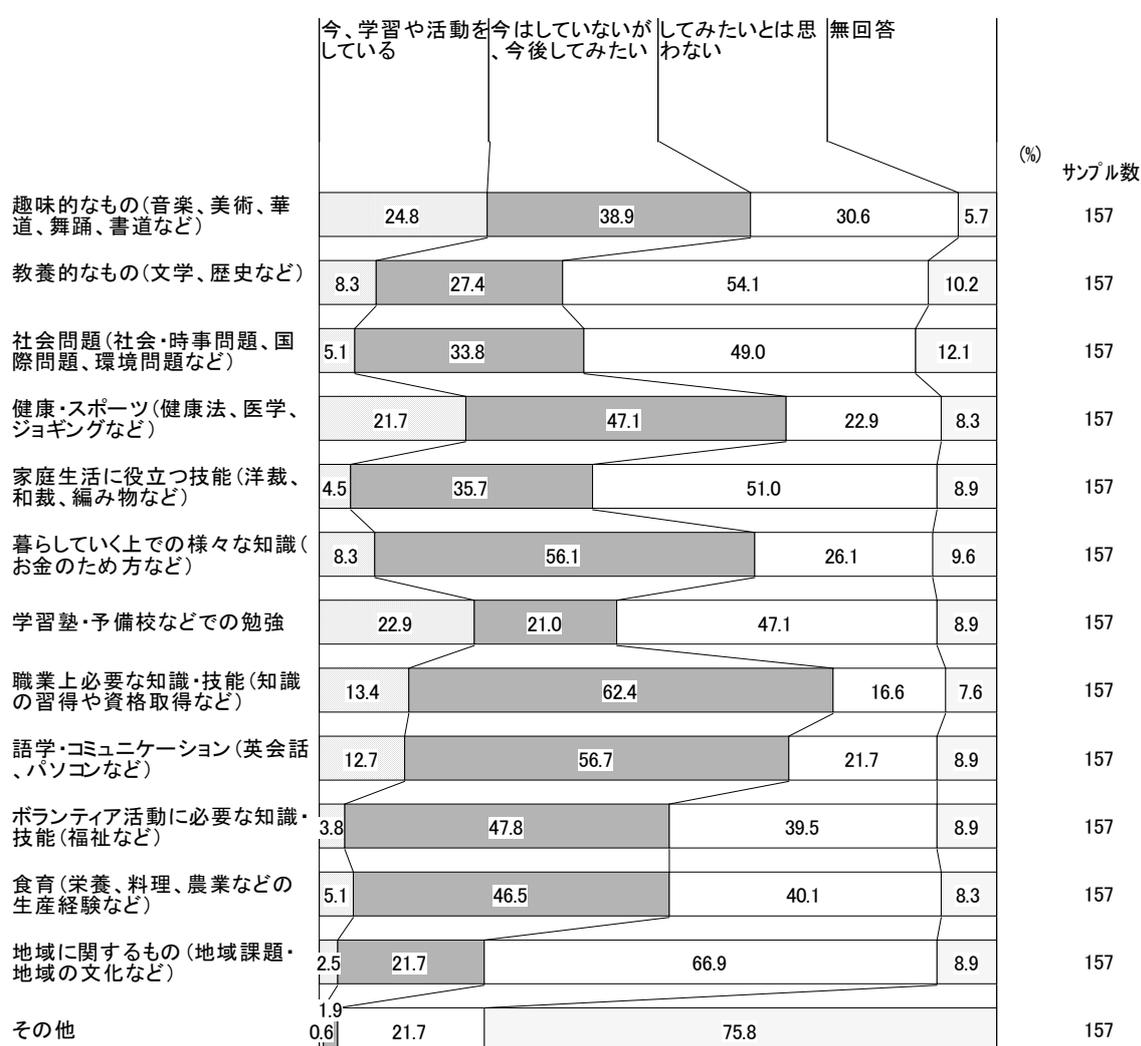
4 学校以外の学習や活動の状況

(1) 学習や活動の内容

問 11 現在、あなたは学校以外でどのような学習や活動をしていますか。また、今後してみたいと思いますか。
次の(ア)～(ス)のそれぞれの項目についてお答えください。(○は(ア)～(ス)ごとに、それぞれ1つずつ)

12の学習・活動のうち、「今、学習や活動をしている」人が最も多いのは、「趣味的なもの(音楽、美術、華道、舞踊、書道など)」で、24.8%の人が活動している。次に多いのは、「学習塾・予備校などでの勉強」で、22.9%の人が活動している。

「今はしていないが、今後活動してみたい」と考えている人が最も多いのは、「職業上必要な知識・技能(知識の習得や資格の取得など)」で、62.4%の人に活動意向がある。また、学習塾・予備校などでの勉強以外は、実際に活動している人よりも、今は活動していないが活動してみたいと考えている人が多くっており、潜在的な活動意向が高い状況がうかがわれる。



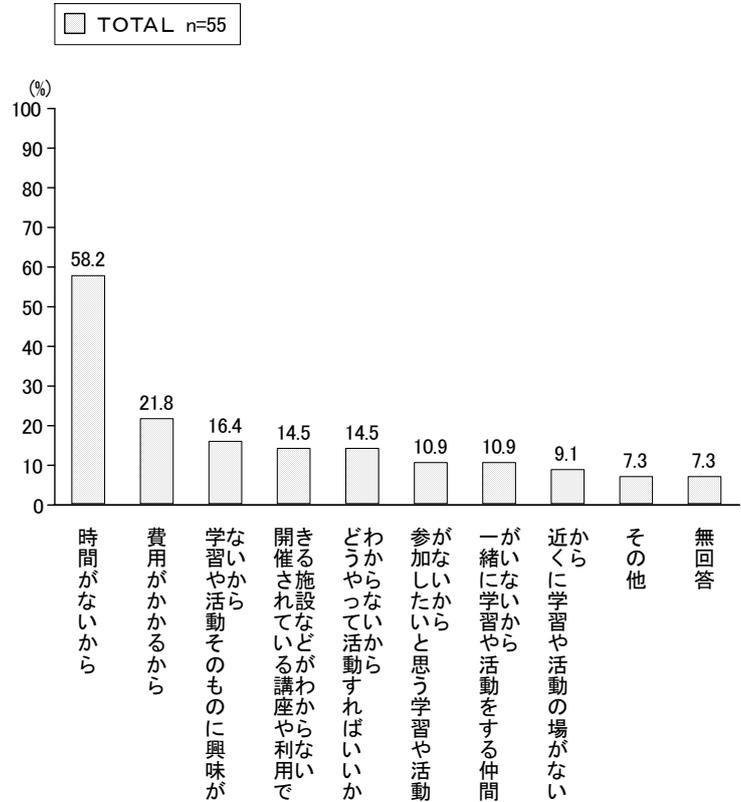
※学習・活動の種類の名前は、一部簡略化して記載している。

(2) 学習や活動ができない理由、しない理由

問12 学習や活動ができない理由、しない理由は何ですか。次の理由の中から、あてはまるものをお選びください。(〇はいくつでも)

※「今、学習や活動をしているものが1つもない」と回答した者

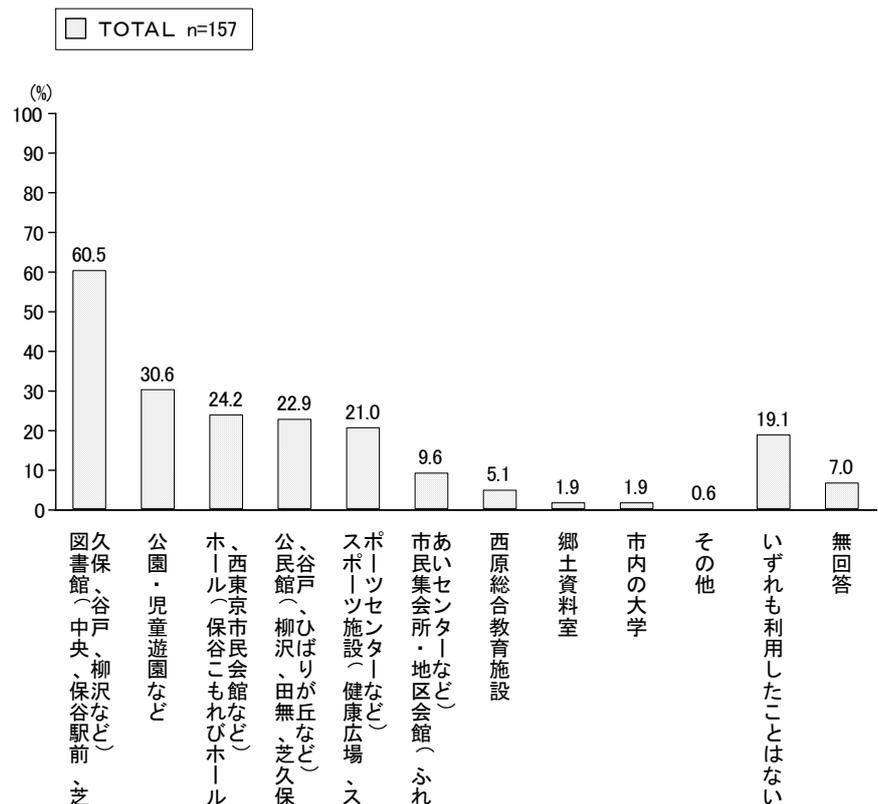
学習や活動が出来ない理由、しない理由としては、「時間がないから」と回答した人が58.2%と最も多く、次いで「費用がかかるから」が21.8%で続いている。



(3) 市内施設の利用状況

問13 あなたは、この1年間で、西東京市内の下記の施設を利用したことがありますか。利用したことがある施設を全てお答えください。(〇はいくつでも)

この1年間に最も利用されている市内の施設は、「図書館（中央、保谷駅前、芝久保、谷戸、柳沢など）」(60.5%)で、約6割の人が利用したことがあると回答している。

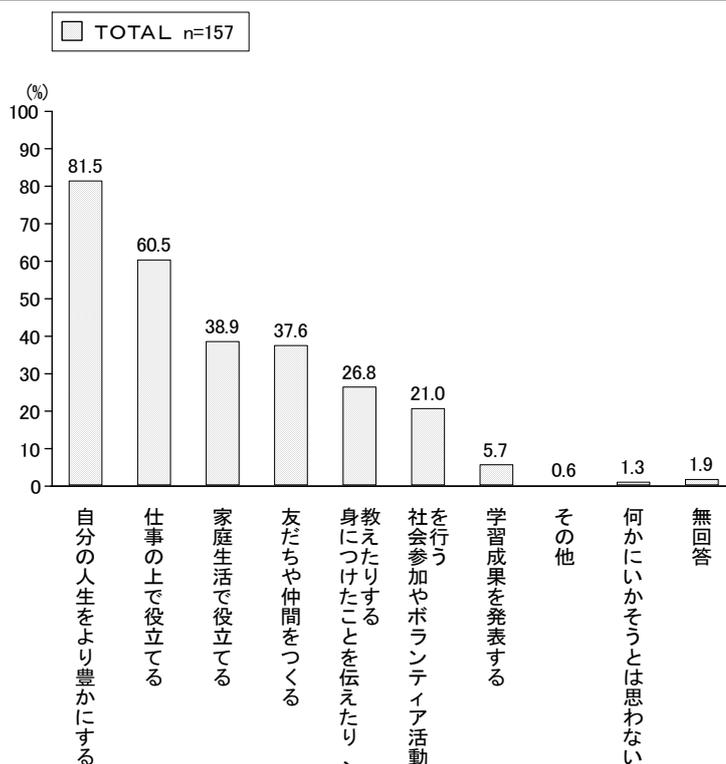


※選択肢は、一部簡略化して記載している。

(4) 学習や活動で得た知識・技術の活用方法

問14 あなたが学習や活動で知識や技術を得たとしたら、どのようにいかしていきたいと思いますか。(〇はいくつでも)

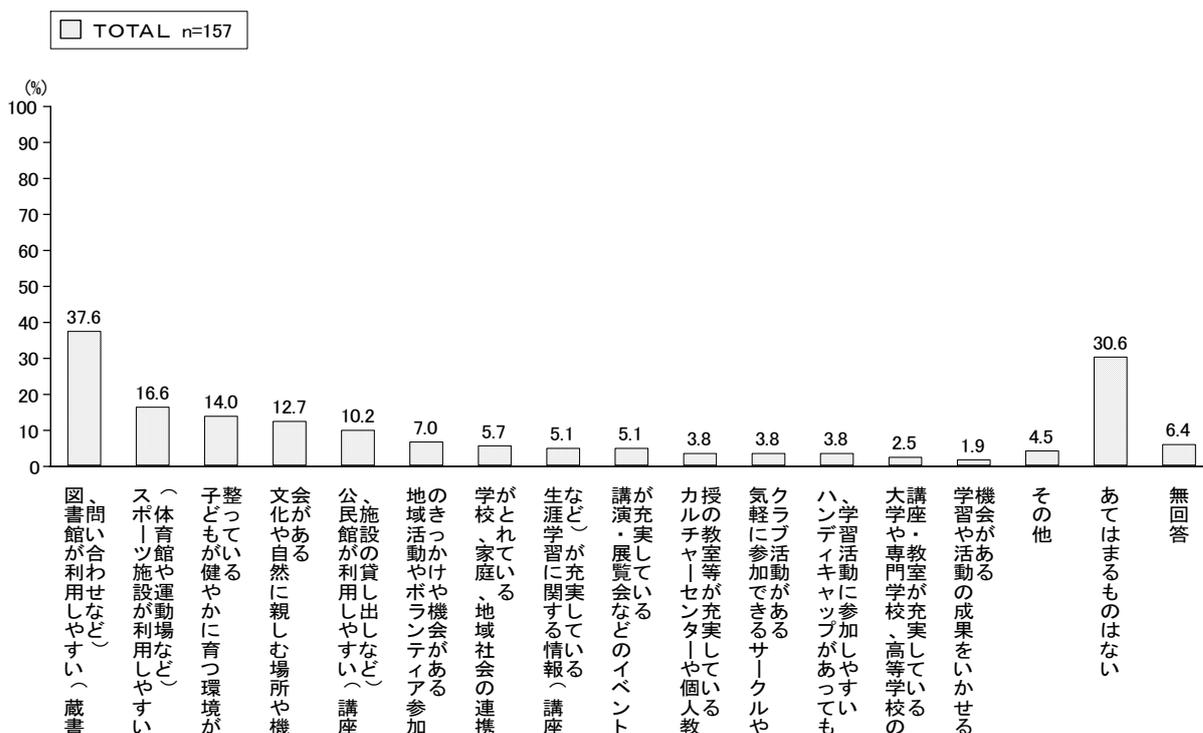
学習や活動で得た知識や技術の活用方法として、約8割の人は「自分の人生をより豊かにする」(81.5%)ことを望んでいる。次いで、「仕事の上で役立てる」(60.5%)、「家庭生活で役立てる」(38.9%)、「友だちや仲間をつくる」(37.6%)の順で続いている。



(5) 西東京市の学習環境

問15 現在の西東京市の学習環境について、あてはまると思うものをお答えください。(〇はいくつでも)

現在の西東京市の学習環境については、「図書館が利用しやすい(蔵書、問い合わせなど)」ことをあげる人が37.6%と最も多く、次いで「スポーツ施設が利用しやすい(体育館や運動場など)」が16.6%で続いている。



※選択肢は一部簡略化して記載している。

5 公民館・図書館の利用状況

(1) 公民館の利用状況

問 16 この1年間に、公民館を利用しましたか。また、利用した方は、どの程度利用しましたか。(○は1つ)

この1年間の公民館の利用経験を尋ねたところ、75.8%の人は「利用したことはない」と回答している。

		ほぼ毎日 利用	週4~5回 利用	週2~3回 利用	週1回 程度利用	月2~3回 利用	月1回 程度利用	年数回 利用	利用したこ とはない	無回答
人 数	157	0	0	1	1	5	7	22	119	2
構成比	100%	-	-	0.6%	0.6%	3.2%	4.5%	14.0%	75.8%	1.3%

(2) 公民館の利用目的・内容

問 17 公民館を利用する目的・内容は次のうちどれにあたりますか。(○はいくつでも)

※「この1年間に公民館を利用した」と回答した者

公民館を利用する目的・内容は、「ロビー利用（休憩、くつろぎ）」が55.6%と最も多い。

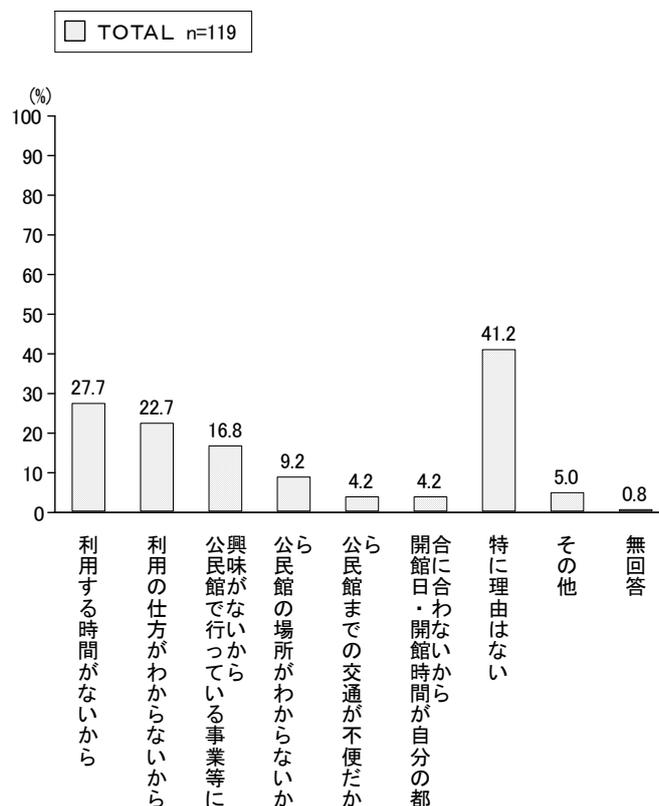
		ロビー利 用(休憩、 くつろぎ)	サークル 活動	公民館が 主催する 講座及び イベント	PTA、子ど も会、その 他各種団 体の活動	自治会関 係の活動	チラシ、パ ンフレット 等の情報 収集	市民企画 事業	その他	無回答
人 数	36	20	5	2	2	1	1	0	8	2
構成比	100%	55.6%	13.9%	5.6%	5.6%	2.8%	2.8%	-	22.2%	5.6%

(3) 公民館を利用しない理由

問 18 公民館を利用しない理由は何ですか。(○はいくつでも)

※「この1年間に公民館を利用したことがない」と回答した者

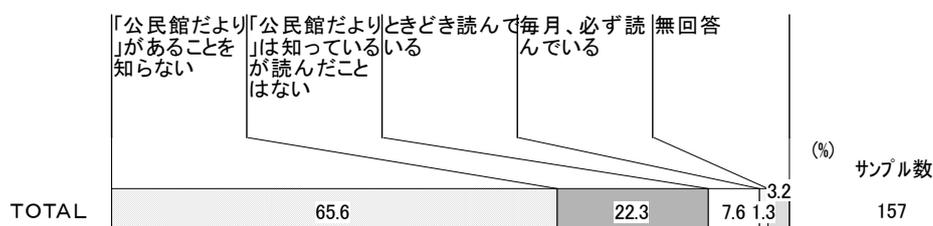
公民館を利用しない理由を尋ねたところ、約4割の人は「特に理由はない」(41.2%)と回答しているが、あげられた理由としては、「利用する時間がないから」が27.7%と最も多く、次いで「利用の仕方がわからないから」が22.7%で続いている。



(4) 「公民館だより」の認知状況

問 19 毎月1日に全戸配布される「公民館だより」を読んでいますか。(○は1つ)

公民館だよりを「毎月、必ず読んでいる」人は1.3%、「ときどき読んでいる」は7.6%となっており、合わせると約1割の人は、公民館だよりを読んだ経験があることがわかる。「公民館だよりは知っているが読んだことはない」人を合わせると、公民館だよりの認知率は約3割である。



(5) 図書館の利用状況

問 20 この1年間に、市の図書館を利用しましたか。また、利用した方は、どの程度利用しましたか。(○は1つ)

この1年間の図書館の利用経験を尋ねたところ、「利用したことはない」人は38.2%で、約6割の人は利用した経験がある。

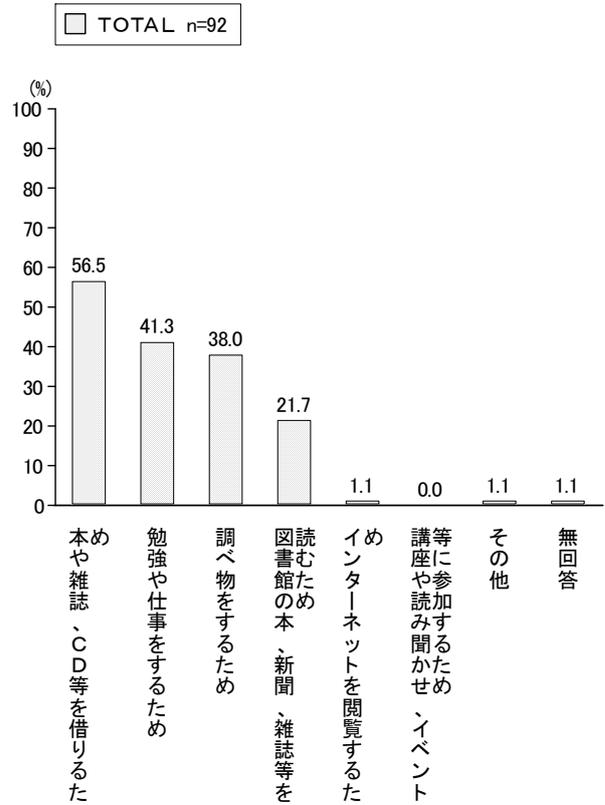
	ほぼ毎日利用	週4~5回利用	週2~3回利用	週1回程度利用	月2~3回利用	月1回程度利用	年数回利用	利用したことはない	無回答
人数	0	1	2	5	13	16	55	60	5
構成比	-	0.6%	1.3%	3.2%	8.3%	10.2%	35.0%	38.2%	3.2%

(6) 図書館の利用目的・内容

問 21 図書館を利用する目的・内容は次のうちどれにあたりますか。(○はいくつでも)

※「この1年間に図書館を利用した」と回答した者

図書館を利用する目的・内容は、「本や雑誌、CD等を借りるため」が56.5%と最も多く、次いで「勉強や仕事をするため」(41.3%)、「調べ物をするため」(38.0%)と続いている。

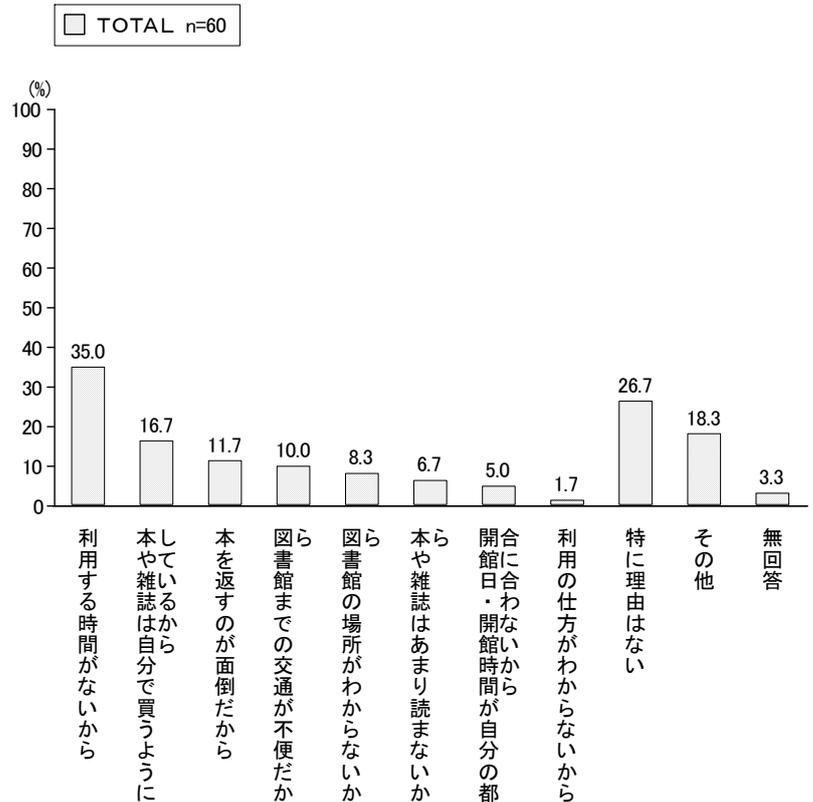


(7) 図書館を利用しない理由

問 22 図書館を利用しない理由は何ですか。(○はいくつでも)

※「この1年間に図書館を利用したことがない」と回答した者

図書館を利用しない理由としては、「利用する時間がないから」が35.0%と最も多い。なお、「特に理由はない」という回答が26.7%見られる。

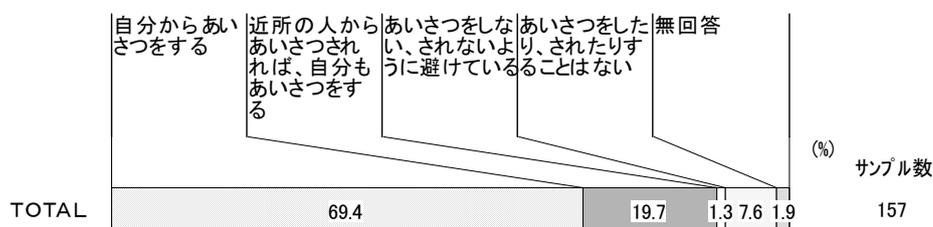


6 地域との関わり状況

(1) 近所とのつきあいの程度

問 23 普段、近所の人とはあいさつをしますか。(○は1つ)

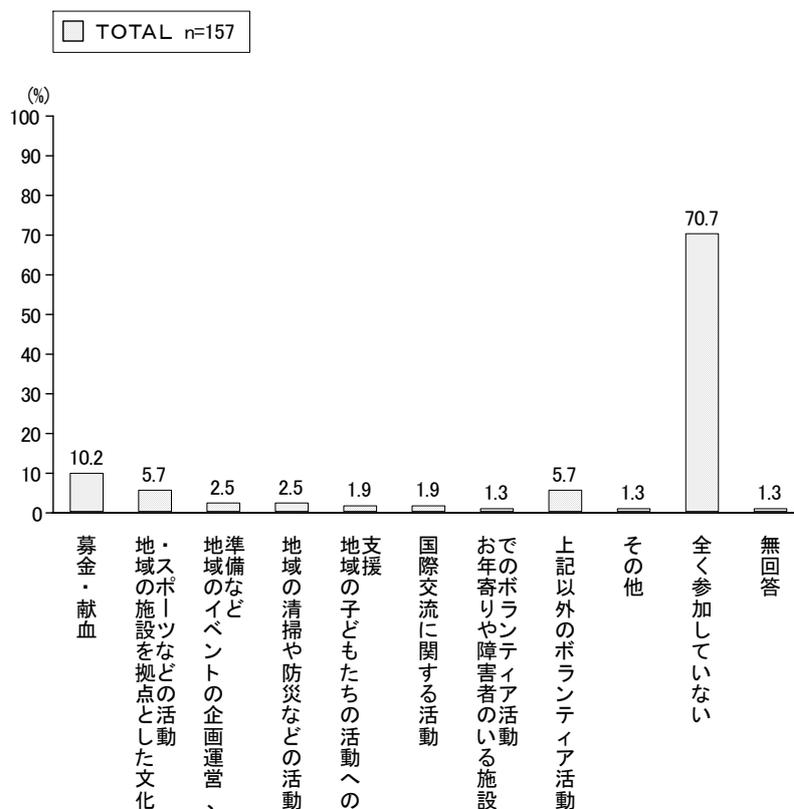
約7割の人は、普段、近所の人に「自分からあいさつをする」(69.4%)と回答している。



(2) 地域・社会活動への参加状況

問 24 あなたは、最近1年間で、次のような活動に参加したり、行ったりしたことがありますか。(○はいくつでも)

最近1年間に、「募金・献血」に行った人は10.2%、「地域の施設を拠点とした文化・スポーツなどの活動」に参加した人は5.7%で、地域活動や社会活動に「全く参加していない」人が約7割(70.7%)となっている。



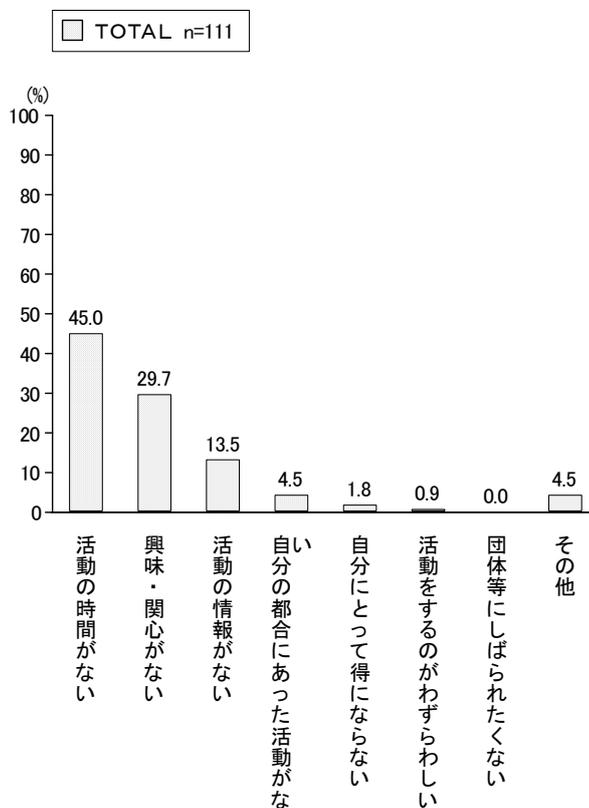
※選択肢は一部簡略化して記載している。

(3) 地域・社会活動に参加しない理由

問 25 あなたが、地域・社会での活動に参加しない主な理由は何ですか。(○は1つ)

※ 「最近1年間に地域・社会活動に参加したことがない」と回答した者

地域活動や社会活動に参加しない理由としては、「活動の時間がない」と回答した人が 45.0%と最も多く、次いで「興味・関心がない」が 29.7%で続いている。

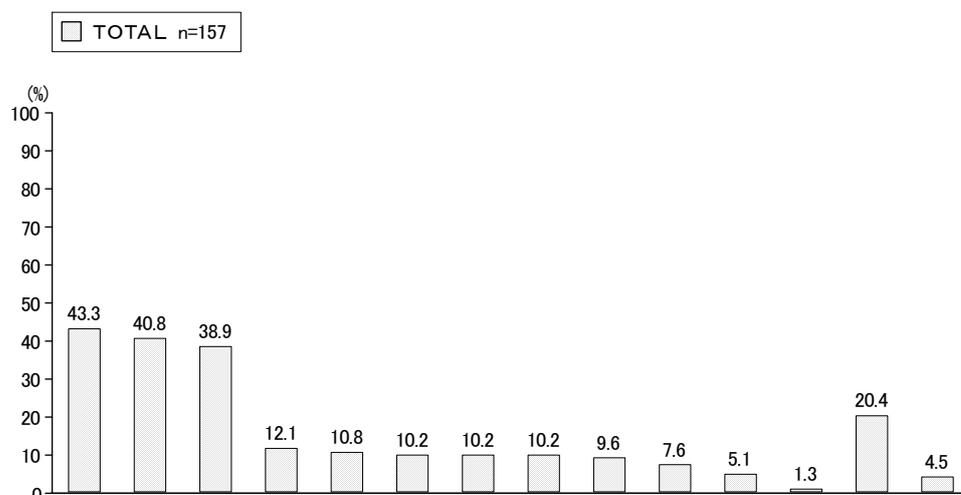


(4) 地域・社会活動への参加意向

問 26 あなたは、身近な小学校・中学校の取り組みやそこを拠点として行われる地域の活動について、どのようなことなら、参加・協力してもよいと思いますか。(〇はいくつでも)

参加・協力してもよい地域の活動が「特にない」と回答した人は 20.4%で、約8割の人には何らかの地域活動への参加・協力意向があることがわかる。参加・協力意向が最も高いのは、「学校の行事やイベント」の 43.3%、次いで「学校の授業やクラブ活動・部活動」(40.8%)、「学校で行われる地域のスポーツ・文化活動」(38.9%)と続いている。

性別に見ると、男性に比べて女性のほうが 10 ポイント以上高い項目は、「学校の行事やイベント」(男性 32.9%、女性 56.2%)、「児童生徒の体験活動などにおける安全確保やサポート」(男性 4.9%、女性 15.1%)、「子どもの地域での過ごし方や活動などの広報誌づくり等」(男性 2.4%、女性 13.7%)である。反対に、男性のほうが 10 ポイント以上高い項目は、「学校で行われる地域のスポーツ・文化活動」(男性 46.3%、女性 31.5%)である。



問1 性別	n	5	4	7	1	11	2	3	8	6	10	9	12	13	14
		学校の行事やイベント	学校の授業やクラブ活動・部活動	学校で行われる地域のスポーツ・文化活動	総合的な学習の時間や調べ学習などへの資料の提供	市民同士の交流や、まちづくりに関する活動	歴史、学習などの情報提供(地域学習のための情報提供)	児童生徒の体験活動などにおける安全確保やサポート	や行事などの企画・実施(土日をはかした親子イベント)	学校図書館やコンピュータールームなどの施設開放運営	子どもたちの地域での過ごし方や活動などの広報誌づくり等	児童生徒の非行防止や健全育成のための活動	その他	特にない	無回答
0 TOTAL	157	43.3	40.8	38.9	12.1	10.8	10.2	10.2	10.2	9.6	7.6	5.1	1.3	20.4	4.5
1 男性	82	32.9	41.5	46.3	9.8	9.8	13.4	4.9	7.3	9.8	2.4	2.4	2.4	22.0	3.7
2 女性	73	56.2	39.7	31.5	15.1	12.3	6.8	15.1	12.3	9.6	13.7	8.2	0.0	17.8	5.5
3 無回答	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0

※男性・女性で 10 ポイント以上差がある項目に \wedge \vee を付けています。

※選択肢は一部簡略化して記載している。

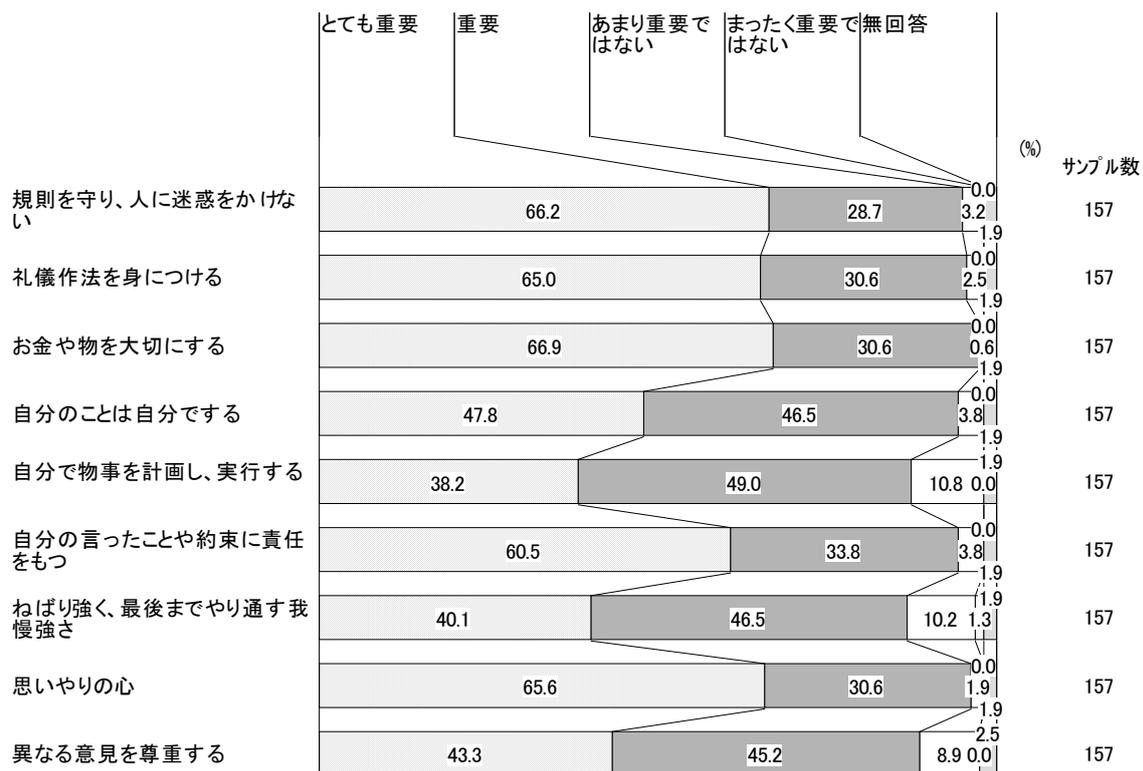
7 家庭の役割について

(1) 家庭で身につけるべきこと

問 27 あなたは、主に家庭で身につけるべきこととして、どのようなことが重要だと思いますか。

(○は(ア)~(ケ)にそれぞれ1つずつ)

家庭で身につけるべきこととして、「とても重要」あるいは「重要」と考えている人の割合は、提示した9つの項目すべてで8割以上となっており、「まったく重要ではない」あるいは「あまり重要ではない」と回答した人の割合が1割を超えているのは、「自分で物事を計画し、実行する」(10.8%)と「ねばり強く、最後までやり通す我慢強さ」(11.5%)の2項目のみである。



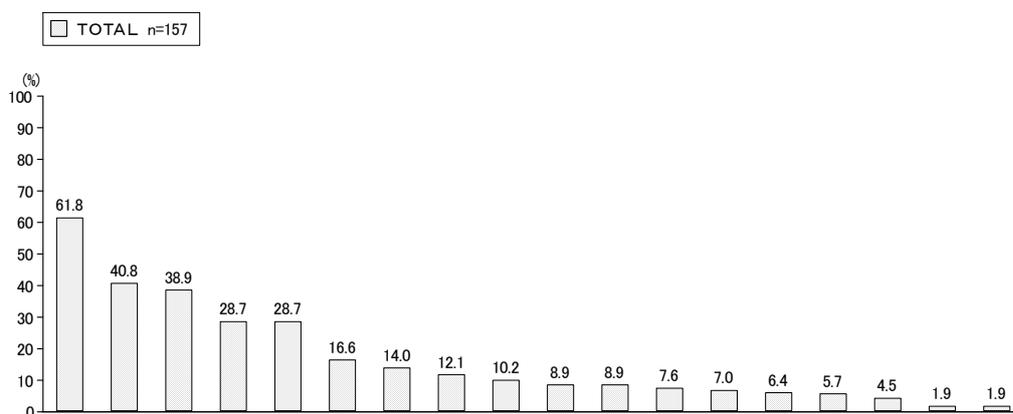
8 小学校・中学校について

(1) 小学校・中学校で教えることで重要なこと

問 28 西東京市の小学校・中学校で子どもたちに教えることとして、重要だと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

小学校・中学校で子どもたちに教えることとして重要だと思うことは、「思いやりの心や、善悪の判断など、道徳心」と回答した人が 61.8%と最も多く、次いで「社会生活に必要な常識やマナー」(40.8%)、「人間関係を築く力」(38.9%)と続いている。

性別に見ると、男性に比べて女性のほうが 10 ポイント以上高い項目は、「思いやりの心や、善悪の判断など、道徳心」(男性 54.9%、女性 68.5%)、「社会生活に必要な常識やマナー」(男性 30.5%、女性 53.4%)である。反対に、男性のほうが 10 ポイント以上高い項目は、「自ら学び、考え、主体的に行動する力」(男性 34.1%、女性 23.3%)である。



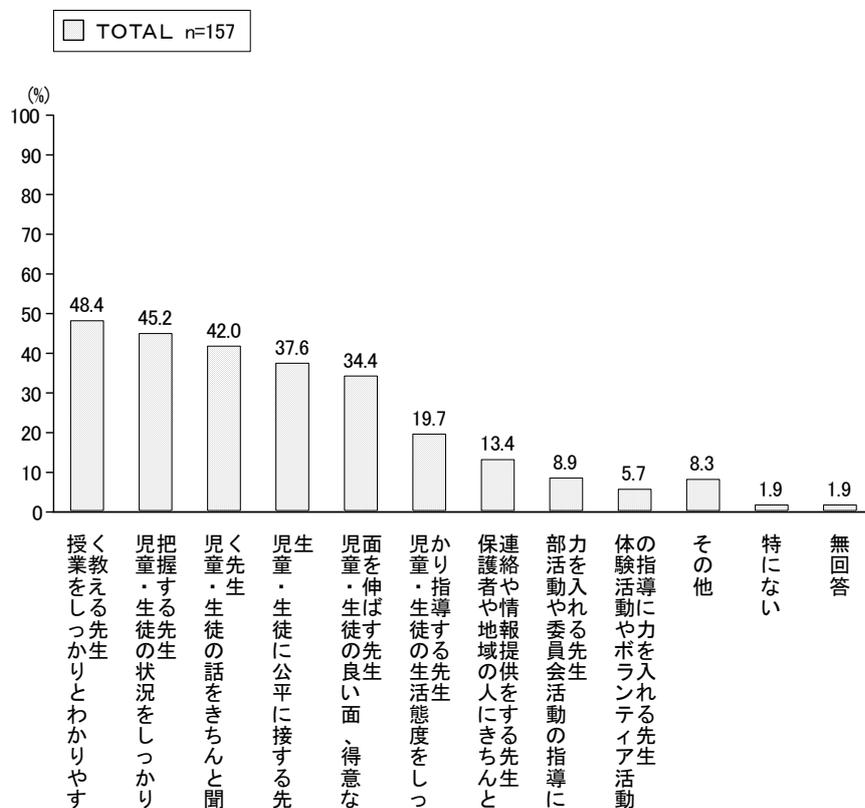
問 1 性別	n	項目																	
		1	4	2	3	9	5	11	6	7	12	16	10	13	14	8	15	17	18
0 TOTAL	157	61.8	40.8	38.9	28.7	28.7	16.6	14.0	12.1	10.2	8.9	8.9	7.6	7.0	6.4	5.7	4.5	1.9	1.9
1 男性	82	54.9	30.5	36.6	34.1	28.0	18.3	12.2	11.0	13.4	7.3	8.5	4.9	8.5	8.5	7.3	7.3	3.7	2.4
2 女性	73	68.5	53.4	41.1	23.3	28.8	15.1	16.4	12.3	6.8	11.0	9.6	11.0	5.5	4.1	4.1	1.4	0.0	1.4
3 無回答	2	100.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※ 男性・女性で 10 ポイント以上差がある項目に \wedge / \vee を付けています。

(2) 望ましい小学校・中学校の教師像

問 29 西東京市の小学校・中学校の先生は、どのような先生が望ましいと思いますか。(○は3つまで)

望ましい小学校・中学校の教師像としては、「授業をしっかりとわかりやすく教える先生」をあげる人が 48.4%と最も多く、次いで「児童・生徒の状況をしっかりと把握する先生」(45.2%)、「児童・生徒の話をきちんと聞く先生」(42.0%)と続いている。



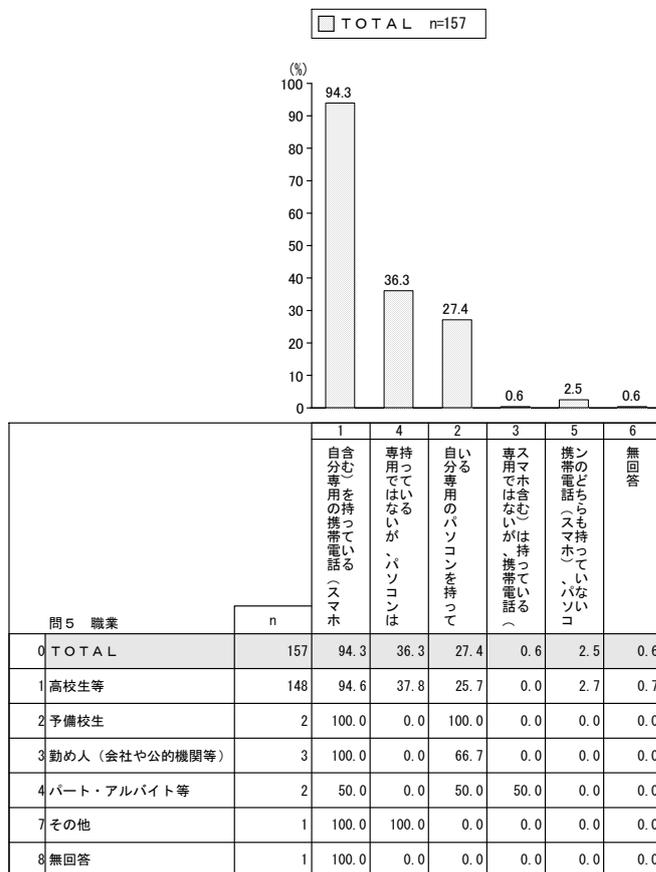
※選択肢は一部簡略化して記載している。

9 携帯電話・パソコンの利用状況

(1) 携帯電話やパソコンの所持状況

問 30 あなたは、自分専用の携帯電話(スマートフォン含む)、パソコンを持っていますか。(○はいくつでも)

「自分専用の携帯電話(スマートフォン含む)を持っている」人は94.3%、「自分専用のパソコンを持っている」を持っている人は27.4%である。



※選択肢は一部簡略化して記載している。

※高校生等には、「高校生」「短期大学生・高等専門学校生」「専門学校生」「大学生」が含まれる。

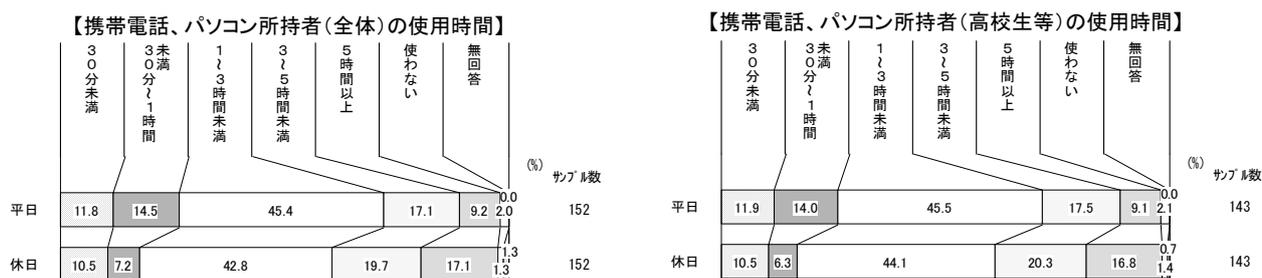
(2) 携帯電話、パソコンの使用時間

問 31 1日にどのくらいの時間、携帯電話(スマートフォン含む)やパソコンを使いますか。

「平日」「休日」それぞれについてお答えください。(○はそれぞれ1つ)

※「携帯電話、パソコンを持っている」と回答した者(自分専用かどうかは問わない)

携帯電話(スマートフォン含む)やパソコンの使用時間は、平日では「1～3時間未満」が45.4%、休日では「1～3時間未満」が42.8%を占める。なお、「5時間以上」使用する人も、平日では9.2%、休日では17.1%見られる。



※高校生等には、「高校生」「短期大学生・高等専門学校生」「専門学校生」「大学生」が含まれる。

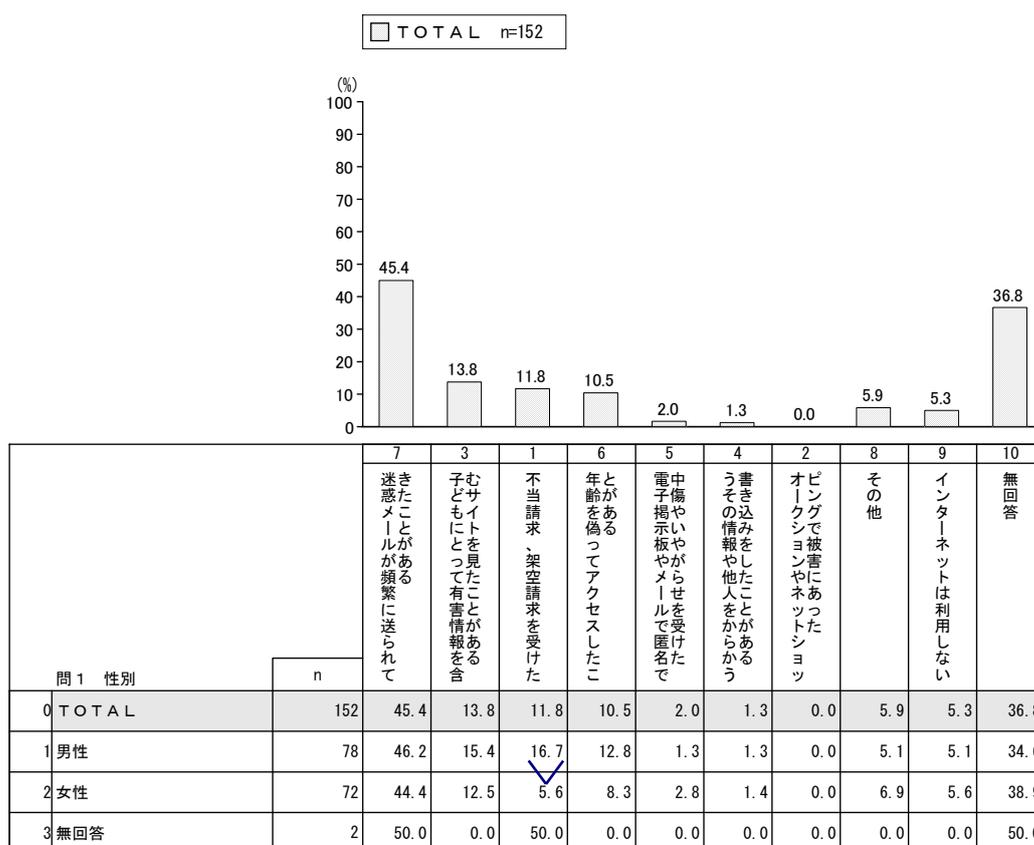
(3) インターネット利用の際のトラブル状況

問 32 携帯電話(スマートフォン含む)やパソコンでインターネットを利用して、次のようなことがありましたか。(〇はいくつでも)

※「携帯電話、パソコンを持っている」と回答した者(自分専用かどうかは問わない)

携帯電話(スマートフォン含む)やパソコンでインターネットを利用して、「迷惑メールが頻繁に送られてきたことがある」人が45.4%、「子どもにとって有害情報を含むサイトを見たことがある」人が13.8%、「不当請求、架空請求を受けた」ことがある人が11.8%いることがわかる。なお、「無回答」(36.8%)の大半は「携帯電話やパソコンを利用しているが、特に提示したようなトラブルはなかった」と想定される。

性別に見ると、「不当請求、架空請求を受けた」ことがある人の割合は、女性に比べて男性のほうが約11ポイント高くなっている。



【職業別】

1 高校生等	143	44.1	14.0	11.2	9.8	2.1	1.4	0.0	6.3	4.9	38.5
2 予備校生	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
3 勤め人(会社や公的機関等)	3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4 パート・アルバイト等	2	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
7 その他	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8 無回答	1	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※ 男性・女性で10ポイント以上差がある項目に \wedge を付けています。

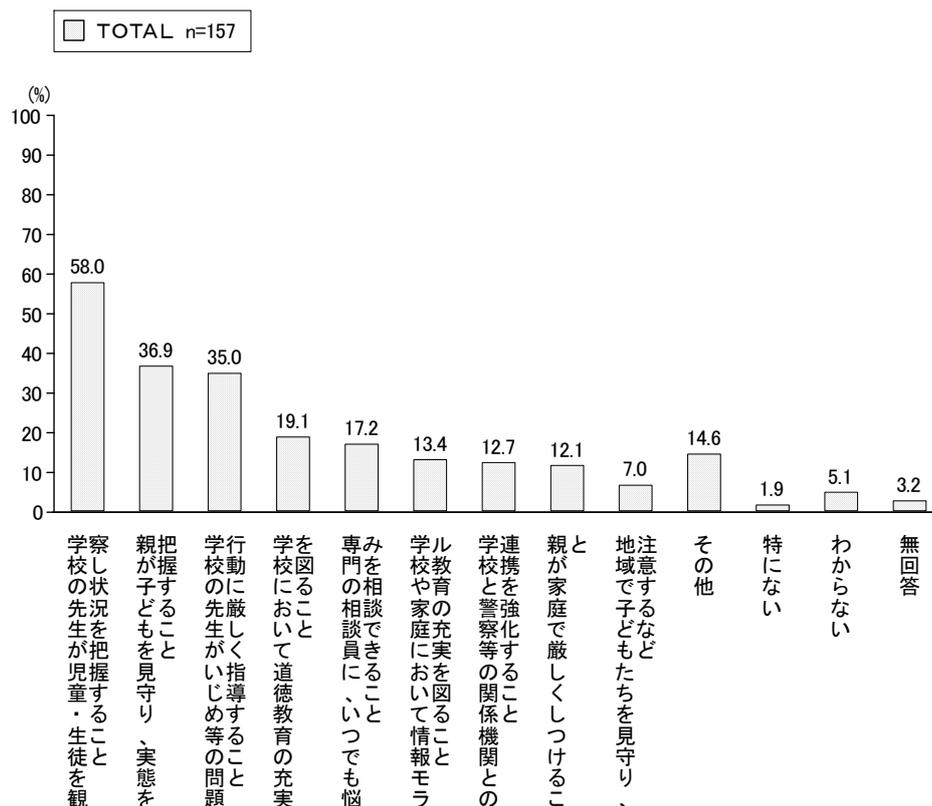
※ 選択肢は一部簡略化して記載している。

10 いじめや不登校問題について

(1) いじめや不登校等の防止のために必要な対策

問 33 あなたは、いじめや不登校などの問題を防止するためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(〇は3つまで)

いじめや不登校などの問題を防止するために必要な対策としては、「学校の先生が児童・生徒を観察し状況を把握すること」をあげる人は58.0%と最も多く、次いで「親が子どもを見守り、実態を把握すること」(36.9%)、「学校の先生がいじめ等の問題行動に厳しく指導すること」(35.0%)と続いている。



※選択肢は一部簡略化して記載している。

11 意見・要望等（自由回答）

※原文通りに記載

調査票の最後に、学習や活動、学校教育等に関する意見や要望の自由記入欄を設けたところ、38名の記入があった。本報告書では紙面の都合上すべてを掲載することはできないが、その一部を紹介する。掲載にあたっては、特に多くの方から寄せられた意見・要望や、調査票の設問からは浮き彫りにされにくい課題・問題点を中心に、より代表性・具体性のある意見・要望を紹介するよう心がけた。

《いじめや不登校について》

- いじめ対策についてですが、学校にカウンセラーがいたり、いくら先生が「気軽に相談して」と言っても、本当に深刻ないじめを受けている子は、「相談室に入っていく」のを見られたりするものが怖くて、なかなか周りに相談できないのが実状だと思います。なので、例えば週に1度、学校から「封筒入りの紙」を配り「家に持って帰って」何か学校で困っていることがあったら書いて来させるようにして、週明けに「全員に」提出させれば、何も無い子は「特になし」と書けばいいし、悩みがある子は家で書くことで周りに知られたりせず、家庭で話し合うきっかけにもなるので良いと思います。（女性 17 歳）
- 不登校はいじめが原因でなるとは、限らないと思います。家庭環境に問題があったりコミュニケーション不足だったり理由は様々です。学校でいつでも相談できるカウンセラーさんがいると良いと思います。（女性 17 歳）
- いじめはやってはいけないと子供たちにしっかり教えてほしいです。（女性 16 歳）
- 昔のいじめと今のいじめの違いは子供達がネット環境に置かれているからだだと思います。正しいインターネットの使い方を指導していくべきだと思います。（女性 18 歳）
- 私自身中学校時代は不登校でした。そもそも不登校はただ学校に行くのが面倒くさいから、という理由でなる事は殆どありません。主な理由はイジメです。不登校は親のしつけでどうにかなるものではありません。イジメ問題をどうにかしない事には解決しない事だと私は考えています。基本的に不登校は自分を守る手段の一つなので、私は悪い事だとは思っていません。（女性 18 歳）
- 先生に見つからないように上手にやるのが「いじめ」です。いじめられた子は、大きくならないうちに親に言う事だと思います。（女性 16 歳）

《家庭でのしつけについて》

- 最近の親は子供を甘やかすすぎだと思う。親が子供の世界を狭くしている。もっと色々な事（楽しい事だけでなく、大変なこと）を経験させてあげるべき。（女性 16 歳）
- 家庭でも学校でも、やっていいことと悪いことの判断を小さい頃から教え込むことが大切だと思う。（女性 18 歳）
- 小中高と学校で色々学んできたが教育は間違っていないと思う。私は幼い子を見る機会が多いが自己主張が非常に苦手でコミュニケーションもほとんど出来ない子が多い。これは学校も責任があるが家庭内の方に非常に問題があると私は考える。（男性 18 歳）

《学校の授業について》

- 学習指導要領もありなかなか生徒全員が皆満足するような授業をすることは難しいと思いますが、興味や関心を引くような授業をして行ってほしいです。（女性 17 歳）
- 「総合の時間」や「調べ学習」の主旨が分からない。生徒としては『楽な時間』『遊びの時間』という意識しかない。（女性 18 歳）
- 小学校から、ディベートなどで、自分で考える力、発信する力、他の意見を聞く/認める力をつけていくべきだと思う。（女性 18 歳）
- 公立と私立との小中学校の教員の質の差が激しい。公立の教員に対して見直しを要求したい。また、たとえ公立であっても塾などに通わずとも上位の高校に合格できるだけだけの学力を身につけさせる授業を行ってほしいと思う。（男性 18 歳）

《学校環境について》

- ・ 学校は塾や予備校とは違い勉強だけを教えるところではないと思うので、もっと生徒同士が仲良くなれるような環境を作ってほしいなと思いました。(女性 17 歳)
- ・ 小学校・中学校 2 学期制の長所がわかりません。3 学期制がいいと思います。(女性 17 歳)
- ・ 同じ市内の学校であるのに設備にかくさがあるのはおかしい。(男性 16 歳)
- ・ 学校の先生の負担が大き過ぎるのではないのでしょうか。ヨーロッパでは「心（内面）」を育てる教会と「頭」を育てる学校が完全に役割分担をしています。(男性 18 歳)

《図書館について》

- ・ 図書館に学習できる環境がほしい。(女性 16 歳)
- ・ 私の家から一番近い図書館は柳沢図書館なのですが、勉強をするスペースが少ないため、増やして欲しいです。(女性 15 歳)
- ・ 図書館を増やしてほしいです。(女性 16 歳)
- ・ 私は週に 4 回ほど図書館を利用しています。とても快適で勉強しやすいのですが、たまに、おしゃべりをする人やひとり言をいう人、いびきをかく人がいます。私は学生なのでその方に注意することができません。なので、図書館の職員の方に注意してほしいと思います。(女性 17 歳)
- ・ 図書館は浮浪者のたまり場で勉強や調べ物が出来なく不便なのでなんとかしてほしい。(男性 17 歳)

《その他》

- ・ 食育は大事だと思う。自分で農業について勉強しているが、ファーストフードを早くから食べなれてしまうと日本の物のよさがわからなくなると思う。国産が高い理由を知る機会はまだまだ少ない。産地の人（特に法人の人）を中心としたイベントがあってもいいと思う。(男性 18 歳)
- ・ 今年は受験があり、市内のイベント等には参加していませんが終えたら積極的に参加したいです。(男性 17 歳)
- ・ 球技が自由に出来る公園や体育館等、子供が遊べる場をもっと増やしてほしい。(男性 16 歳)
- ・ 勉強できる自習室などを増やしてほしいです。テニスコートを増やしてほしいです。(女性 17 歳)
- ・ いつも市民会館の学習室を利用しているのですが、西東京市には、そのような学習室が、とても少なく困っています。安心して気軽に学習できる施設を増やしていただきたいと思います。(女性 17 歳)